

## 修了評価の方法

評価基準作成者：山口 芳久

評価方法及び合格基準

### 1 出題範囲

「(1) 職務の理解」から  
「(9) ところとからだのしくみと生活支援技術」までとする。

### 2 出題形式

選択形式及び記述形式とする。

### 3 出題数

科目名	A 問題		B 問題		A' 問題		B' 問題	
	選択	記述	選択	記述	選択	記述	選択	記述
職務の理解	1	0	1	0	1	0	1	0
介護における尊厳の保持・自立支援	3	2	3	2	3	2	3	2
介護の基本	1	0	0	0	1	0	0	0
介護・福祉サービスの理解と医療の連携	1	0	3	0	1	0	3	0
介護におけるコミュニケーション	1	0	0	0	1	0	0	0
老化の理解	0	1	1	0	0	1	1	0
認知症の理解	1	0	0	0	1	0	0	0
障がいの理解	2	0	2	1	2	0	2	1
ところとからだのしくみと生活支援技術	10	2	10	2	10	2	10	2

### 4 合否判定基準

合格 90点以上：「A評価」、75点以上：「B評価」、60点以上：「C評価」、  
不合格 60点未満：「不可」

### 5 不合格になったときの取扱い

- ・ 2 時間の補習のうえ、再評価を行う。
- ・ 再試験の結果、不合格であった者には 2 時間の補習のうえ、再々評価を行う。
- ・ 補習料は 3, 000 円、再評価料および再々評価料は 3, 000 円とする。
- ・ 再評価・再々評価に係る合格基準は 60 点以上とする。
- ・ 再々試験の結果、不合格であった者には修了を認定しない。